



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.17

～平成 28 年 6 月に出前講座・現場見学会を実施しました～



◆出前講座・現場見学会

今年も、平成 23 年度から実施している出前講座と現場見学会について、近隣の 2 校の小学生を対象に行いましたのでご報告します。

平成 28 年 6 月 15 日(水)に市立西淡路小学校の 3 年生児童(81 名)と、6 月 30 日(木)には市立東淡路小学校の 3 年生児童(55 名)を対象に、次の内容にて出前講座と現場見学会を行いました。

○目的

- ・「まちづくり」に対する関心を促し、事業の目的・効果などについての理解促進
- ・事業に対する親近感の醸成
- ・工事用車両への注意喚起や踏切の安全なわたり方など安全啓発

○実施内容

西淡路小学校の児童のみなさんには、淡路駅の工事事務所にお越しいただき、大阪市と阪急電鉄(株)の担当者が「淡路駅周辺で進められているまちづくり」や「高架工事の概要」などについて説明を行い、「踏切の安全なわたり方」などの安全啓発を行いました。その後、現場見学会として、ヘルメットをかぶって阪急千里線に出来上がっている高架構造物(地上約 21m、7 階相当)の上へ登ってもらいました。

また、東淡路小学校の出前講座と現場見学会については、当日、あいにくの雨模様の天気となり、予定していた現場見学会は、残念ながら中止とさせていただき、小学校の教室をお借りし出前講座のみ開催しました。

児童達は、工事に関するクイズに答えたり、高架構造物の上から自分たちが暮らす街の様子を見て、高架構造物の大きさに驚きながらも、笑顔があふれていました。工事担当者から直接説明を聞いて、事業を身近に感じてくれたのではないかと思います。

出前講座の様子



東淡路小学校



西淡路小学校

現場見学会の様子

